患者さんパンフレット

四国がんセンター

呼吸器科

カルボプラチン・パクリタキセル
併用療法を受けられる方へ

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿さま

主治医

受け持ち看護師

2002年5月１日　作成
2024年2月21日　改定

私たち医療スタッフは

Ⅰ．化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようにお手伝いいたします

Ⅱ．治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され
安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約２週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともありますが、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます

入院日～治療開始まで　　月　　日　～　　月　　日

今日の目標
- 入院生活と治療内容について理解できる
- 治療中の注意事項について理解できる
- 心身ともに治療を受けられる状態にある

＜時間＞	＜予定＞	
11：00	入院	入院後に以下のことを予定しています ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 （テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定 ・血液検査、尿検査、胸部レントゲン ・入院前の生活状況や身体状況の聞き取り
12：00	昼食	
		治療の流れや注意事項について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照 「関節痛・筋肉痛」のページ参照
		＜お薬＞ 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
		＜食事＞ 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください 特に制限はありません 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります
		＜活動＞ 制限はありません
18：00	夕食	
		＜睡眠＞ 眠れないときはお知らせください
21：30	消灯	

薬剤師からの治療の流れや副作用の説明があります

医療スタッフの目標
- 安心して治療が受けられるよう支援します

入院中の生活の注意点

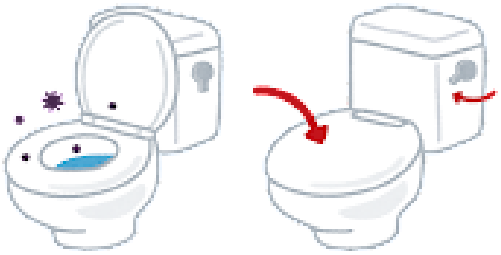
◆感染予防のためにマスクを着用し、手洗いうがいをしましょう
◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
◆排泄を促すために水分をしっかりとりましょう
◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら我慢をせずにトイレに行きましょう
◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください

◆抗がん剤治療開始から治療後２日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

・男性の方は飛び散り防止のため、
座って排尿しましょう

・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
２度拭き取ると良いでしょう

・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を２回流しましょう



・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

抗がん剤投与当日　　月　　日

今日の目標
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

＜時間＞	＜予定＞
6：00	洗面、歯磨き 検温、血圧測定
7：30	朝食
9：30	点滴のスケジュールは次のページをご覧ください ※抗がん剤の点滴前後で血圧、脈拍を測定します ・医師の指示があるときは点滴開始時から飲水量を測定しましょう（用紙は別でお渡しします） ・アレルギー症状の早期発見のために、パクリタキセル開始前からパクリタキセル終了まで心電図モニターを胸に装着します ・点滴中の移動は、ゆっくり行いましょう
12：00	昼食
14：00	検温、血圧測定 点滴が終了後、シャワー浴ができます 体調に合わせて体を拭くこともできます 看護師がお手伝いします 副作用と対策について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
18：00	夕食
19：00	検温、血圧測定
21：30	消灯

フタをして
水を２回流しましょう

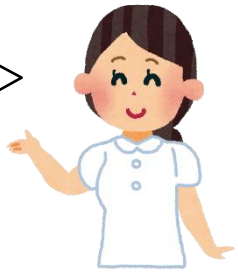
医療スタッフの目標
- 抗がん剤点滴中の副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

点滴スケジュール

９：３０～	吐き気止めを服用します（水はご自身でご用意ください） 点滴を始めます
１本目	生理食塩水５０ml ＋アレルギー予防の薬が入った点滴を１５分間で行います
２本目	吐き気止めの点滴を約３０分間で行います
３本目	生理食塩水５００ml ＋パクリタキセル（抗がん剤）が入った点滴を約３時間で行います
４本目	生理食塩水２５０ml ＋カルボプラチン（抗がん剤）が入った点滴を約３０分以上かけてで行います
5本目	生理食塩水５０mlの点滴を約５～１０分で行います 終了後、針を抜きます

MEMO　気になることや症状などを書き留めておきましょう

- 針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 眠気が強いとき、めまいやふらつきがあるときは、動く前にナースコールをしてください



治療後２日目～３日目　　月　　日　～　　月　　日

今日の目標
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床 検温、血圧測定
7：30	朝食 朝食後、吐き気止めを服用しましょう
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食
18：00	夕食
21：30	消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう

副作用と対策ついて説明します
治療２日目：脱毛について
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照

- 針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください

- 関節痛、筋肉痛が強いときや、吐き気が強いときは追加でお薬を使うことができます
- 食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

いつでも看護師にお知らせください

フタをして
水を２回流しましょう

MEMO　　気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 副作用症状の早期発見に努めます

治療後４日目～７日目　　月　　日　～　　月　　日

今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床
7：30	朝食
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食
18：00	夕食
21：30	消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

- 関節痛、筋肉痛が強いときや吐き気が強いときは、追加でお薬を使うことができます
- 食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます

いつでも看護師にお知らせください

MEMO　　気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 副作用症状の早期発見に努めます

治療後８日目～退院前日　　月　　日　～　　月　　日

今日の目標
- 感染予防行動がとれる
- 退院後の日常生活について理解できる

＜時間＞	＜予定＞	
6：00	起床	
7：30	朝食	★治療後８日目、10日目、15日目に血液検査があります ★治療後８日目、15日目に胸部レントゲン撮影があります
10：00	検温 血圧測定	副作用と対策について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
12：00	昼食	感染予防のために、マスクを着用し、 手洗い・うがいをしましょう
18：00	夕食	★退院前日 ・退院後の日常生活について説明します 「退院後の日常生活について」のページ参照 ・外来治療に向けて、通院治療室についての 説明と見学があります
21：30	消灯	

MEMO　　気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 副作用の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します

退院日　　月　　日

今日の目標
・退院できる

＜時間＞　＜予定＞

6：00　起床
検温、血圧測定

7：30　朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
２階窓口で支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

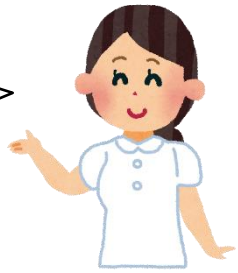
次回外来予約票をお渡しします

10：00　退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月　　日（　　）時の予定です

・退院後も感染予防のために、マスクを着用し、
手洗い、うがいを続けましょう
・外来治療のときはこのパンフレットをお持ちください



MEMO　　気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安が残らないように支援します

「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています

ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください

アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください

●関節痛・筋肉痛

１．定義
筋肉や関節に痛みが生じることをいいます

２．筋肉痛・関節痛の時期
投与後３～５日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので、
数日以内におさまってきます

３．症状
腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを
感じる場合があります

４．治療方法
つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減を
はかります

５．予防方法（日常生活の注意点）

●入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進して
みましょう

●同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を
心がけると良いでしょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

①受付

Bブロック

②採血
中央処置室

☆採血時のお願い☆
採血場所や注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血してもらってください

採血結果が出るまで、
約３０分～１時間かかります

③診察受付
A、B、C、S 各ブロック

④診察

Aブロック
呼吸器科
消化器科
緩和ケア
精神腫瘍科
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科

Bブロック
泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

Cブロック
乳腺科
婦人科
形成・再建皮膚腫瘍外科
頭頸科・甲状腺腫瘍科

Sブロック
消化器科
糖尿内科
循環器科
皮膚科
眼科
リンパ浮腫

治療決定

Sブロック

⑤治療
通院治療室

外来では、
看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

他の診療科で診察のある方は、各診療科受付へ

予約センターは
Ｂ受付の隣です

⑥会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付６番窓口に提出してください。

＊お薬の処方がある方へ
会計終了後に処方箋をお渡しします。４日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

●外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行いますので、少しお時間を頂きます。

●ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。

●テレビは無料でご利用できます。また、ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。但し、ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。

●携帯電話はマナーモードに設定し、通話はご遠慮ください。

●通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。

●トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。
男女兼用ですが、３か所あります。

●ご家族の待機場所は、「暖だん」や「図書コーナー」などがありますのでご利用ください。必要時には、付き添うこともできます。

●副作用や日常生活で困っていることなど、相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。

四国がんセンター　2012年11月　作成
2022年4月　改定

退院後の日常生活について

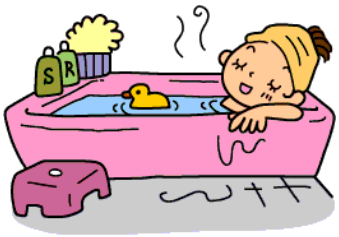
★活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは
避けましょう
外出時は、マスクを着用し、帰宅時に手洗い・うがいを
しましょう
活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

★食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、
少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、１～２食、
食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう

★清潔

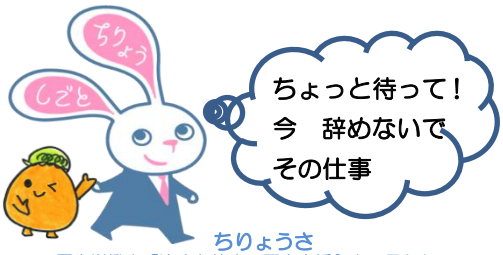


入浴やシャワー浴をして体を清潔にして
おきましょう
発熱時やだるさが強い場合は、入浴を控え、
タオルなどで拭くようにしましょう

歯磨きやうがいをして口の中を清潔に保ちましょう
（歯ブラシは小さく毛の柔らかいものを使用しましょう）

★仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）については、医師と相談してください
これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
私たちと一緒に考えていきましょう



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

相談窓口

がん相談支援センター相談員

- 医療ソーシャルワーカー、看護師

＜出張相談＞

- ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- 両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

★その他

虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内の不具合はないか確認しましょう
治療開始後、歯科治療が必要なときは、医師に歯科受診についてご相談ください
インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください

MEMO　　気になることや症状などを書き留めておきましょう

◆３８.０℃を超える熱が出たとき
◆嘔気があり、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
◆体を起こすこともできないほどの強いだるさが続くとき

上記のような症状がある場合や、その他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

平日　８：３０～１７：１５
四国がんセンター　がん相談支援センター
（直通番号）　０８９-９９９-１１１４

平日上記時間外および土・日・祝日
日直/夜間当直師長
（代表番号）　０８９-９９９-１１１１

＊外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください
平日　８：３０～１７：１５
（直通番号）　０８９-９９９-１１１２

カルボプラチン・パクリタキセル併用療法を受けられる方へ